



令和3年度学校だより

10月14日

# 五福校 ごふくこう

No84

文責 本田

## 自分たちが考える五福のまちづくりについて 熊本市の都市デザイン課・地域の方へプレゼン

現在、熊本市では新町・古町地区において、市と地域が協働で街並みガイドラインの策定や町屋等の保存活用を行う城下町の風情を感じられる街並みづくりが進められています。今後のまちづくりを担う五福小の子どもたちにも学習の一環としてこのようなことに参画させ、五福を愛する子どもたちに育てたいと考えています。また、熊本市では、唐人町通りの道路空間の再編検討が進められており、地域住民・事業者や関係者とともに道路の使い方や過ごし方等のアイデアも募集されています。今、どの学年もその学年なりに五福の町のことを調べたりまとめたりしています。日頃から「どんな建物があるのか」「面白い・魅力的と感じること」「もっとこうなったらいいと感じること」「もっといろいろな人が訪れやすい優しい街にするには」等、自分ごととして考えていってほしいと思います。今日は、6年生が国語の学習を活かして五福のまちづくりに関して自分たちが考えたことを都市デザイン課の方々や地域の方に向けてプレゼンしました。これまで何度も練習し、その成果を発揮することができました。プレゼンしたことで子どもたちの夢が広がりました。今後は、何が本当にやりたいことなのか、実現可能なのか、誰に相談すればできるのかなど、考えを絞っていき実行に移していくことが大切です。また、今日4年生は地域の人に聞きたいことリストを考えていました。このようにネットからだけの情報ではなく実際に足を使って町の方の思いや願いを聞くなど実際に動くことがとても大切であることも学んでいるところです。



4年生は地域の人に聞きたいことリストを作成

子どもたちの発表に対して都市デザイン課や地域の方が本気でアドバイスしていただきました。とてもありがたいです。

## 通学路点検を行いました。手をあげて左右を確認することが大切

先日、警察、土木、教育委員会の方々と一緒に通学路における危険箇所をまわりました。五福小北側の交差点や体育堂前の交差点などの渡り方についてはこれまでも指導していますが、改めて再度子どもたちに指導するようにしていきます。警察の方からは、横断歩道等を渡るときには手を上げて左右を確認することが大切と言われています。大人でも横断歩道で手を上げると多くの車は止まってくれます。ご家庭でもお子様と一緒に歩かれる機会にでもご確認いただくとありがたいです。

